

チャペル週報

No. 3

2015. 4. 20 ~ 4. 24

あなたがたのうちだれが、思い悩んだからといって、
寿命をわずかでも延ばすことができようか。

(マタイによる福音書6章27節)



ランバス記念礼拝堂前

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

- 4月20日(月) 神 Christian Weber (スイス・Mission21 幹事)
経 大学生生活オリエンテーション⑤(最終回)
人 Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)
聖和 聖書物語 ヘビ、カインとアベル
理 前川 裕 (宗教主事)
-
- 4月21日(火) 神 シリーズ・チャペル“Mastery for Service” 加納 和寛 (神学部助教)
文 岩野 祐介 (神学部准教授)
社 上ヶ原ハビタットによるチャペル
法 春の音楽賛美チャペル1 エゴラド
経 舟木 讓 (宗教主事)
商 聖歌隊による讚美歌指導
国 カルトから大学生活を守る① 平林 孝裕 (宗教主事)
聖和 チャペルオルガニスト・コンサート
理 KSC ハンドベル&アンサンブル(1)
総 オルガン音楽チャペル
-
- 4月22日(水) 神 <留学報告>井上 晶 絵 (神学部4年)
法 瞑想 Christian Hermansen (宣教師)
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
商 山本 俊正 (宗教主事)
人 安田 美代子 (人間福祉学部教授)
国 カルトから大学生活を守る② 平林 孝裕 (宗教主事)
聖和 田淵 結 (教育学部宗教主事)
理 KG Blessed Choir(1)
総 イースターを憶えて 村瀬 義史 (宗教主事)
-
- 4月23日(木) 神 上ヶ原ハビタット
文 上ヶ原ハビタット
社 関学と出会う① Ruth M. Grubel (院長)
法 春の音楽賛美チャペル2 グリークラブ
経 上ヶ原ハビタット
商 山本 俊正 (宗教主事)
国 English Chapel 杉山 直人 (国際学部長)
聖和 パイプオルガンの楽しみ～豊かな音色に魅せられて～ 高田 正久 (聖和短期大学教授)
総 フィリピンの子供と子どもと一緒に歩む学生団体 くじら
-
- 4月24日(金) 院 Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)
神 中島 爽 (神学研究科M1)
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 音楽チャペル 混声合唱団エゴラド
人 嶺 重 淑 (宗教主事)
聖和 希望をもって 橋 実千代 (聖和短期大学准教授)
理 KSC ハンドベル&アンサンブル(2)
-

◇ランパス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランパス記念礼拝堂 (上ヶ原)
4月24日(金) 宣教師の働きのために Timothy Dale Boyle (宣教師)

真理と実感

水 野 隆 一

イエスの復活を記す聖書箇所のうち、ルカによる福音書だけに記されているエマオへの道での出来事（24：13～35）は、示唆に富む物語です。

イエスが復活したその日の夕方、2人の弟子がエルサレムからエマオへ歩いています。2人は、この一週間の出来事、中でも、今朝の驚くべき報せをどう考えるべきかを語りあっていました。

彼らの言葉（19～24節）を読むと、彼らはすべて知っています。ところが、彼らはそれを信じることができないでいます。彼らは、空の墓を見に行っただけでもなく、そこで不思議な若者に会ったわけでもなく、見聞きした人から聞いたに過ぎません。その意味で、彼らの知っていることは、「情報」と名付けていいでしょう。

その彼らがイエスの復活を信じるようになるためには、何が必要だったでしょうか。1つにはその「情報」と彼らがイエスと共に体験したことを結びつけること（イエスによって説明を受ける）、もう1つは「情報」に含まれている「真実」を実感する（イエスがパンを割く様子を見る）ことでした。

これは、私たちが「真理」を体得するプロセスに似ています。はじめは、「正しいこと」の知識を得ます。その「正しいこと」を自分の体験と結びつけ、そして、最終的には、「正しいこと」の「正しさ」を実感して、それを「真理」として受け入れます。ある意味では、実感の伴わない真理などあり得ません。

しかし、真理の「実感」には、とても危うい一面があります。実感さえあれば、一般的常識とどんなに違っていても、時には、反していても、どんなものでも「真理」として受け止められてしまうからです。そして一旦「真理」として受け止められたなら、それによって、他の意見や考えは退けられてしまいます。

「実感」を持ちながら、同時に、そのような偏狭さから自由になる方法はあるのでしょうか。根拠となった「実感」を検証し、本当に「真理」を得たのだろうかとか自省し続けることしかないだろうと、私には思えます。毎年イースターを祝うのも、繰り返して出来事を思い返すと同時に、あの時の実感を問い直すためののです。

今年も、イースター礼拝が行われます。「復活」の出来事を実感するために、同時に、真理と実感の関係を見つめ直すために、ランバス記念礼拝堂（上ヶ原）にお越しください。

（神学部教授）

●チャペルオルガニスト募集

関西学院では毎年チャペルオルガニストを募集しており、本年は4月25日(土)にオーディションを行います。採用されれば個人レッスン(有料)を受けることができ、チャペルの演奏をはじめ、発表会、研修会、コンサートなどを通して、教会音楽を中心とした幅広い知識、技能を身につけることができます。

募集要項・応募用紙の入手先:

・ホームページ

関西学院大学ホームページからダウンロードできます。

QRコード→



学生オルガニスト | 検索

・電子メール

organist@kwansei.ac.jpにあなたのキャンパス名を書いたメールを送信してください。返信で送ります(添付ファイルが受信可能なメールからお送りください)。

・事務室

宗教センター(吉岡記念館1階)、聖和キャンパス事務室教育学部担当(1号館1階)、神戸三田キャンパス事務室(アカデミックcommons1階)に置いています。

応募期間: 4月1日(水)~4月23日(木)の事務室開室時間

お問い合わせ・資料請求: 宗教センター オルガニスト募集担当

電話: 0798-54-6018、E-mail: organist@kwansei.ac.jp

●春の献血週間のお知らせ

学生会宗教総部では、春の献血週間を実施します。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

期間: 4月20日(月)~24日(金)

受付場所: 吉岡記念館ラウンジ

主催: 宗教総部献血実行委員会

●関西学院イースター礼拝

イエスの復活を覚えて、関西学院のルーツを探してみましよう。

参加者にはイースターエッグ(ゆで卵)をプレゼントします。

とき: 4月22日(水) 17:30~18:30

ところ: ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

主催: 関西学院宗教活動委員会

協力: 宗教総部、チャペルオルガニスト、聖歌隊、ハンドベルクワイア、ゴスペルクワイア“P.O.V.”、バロックアンサンブル、聖書研究会“ポプラ”

●第199回ランバス演奏会

「エリザベス&ヴィクトリア」

英国16世紀エリザベス朝のリユートソングと19世紀ヴィクトリア朝のギター歌曲
流れよ我が涙、憐れみたまえ我が創造主よ、チェリーパイプ、埴生の宿、ほか
平井満美子/ソプラノ 佐野健二/ルネサンスリユート、19世紀ギター

とき: 4月23日(木) 17:00 開演

ところ: ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

主催: 宗教センター <入場無料>

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アブロースタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。(17:50~18:20 1405教室)

2015年4月主題: 絶望から希望へ ― イエスの受難と復活を覚えて ―

4/23(木) 山本俊正(院長補佐)

4/30(木) Jeffrey Mensendiek(宗教センター宗教主事)

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。